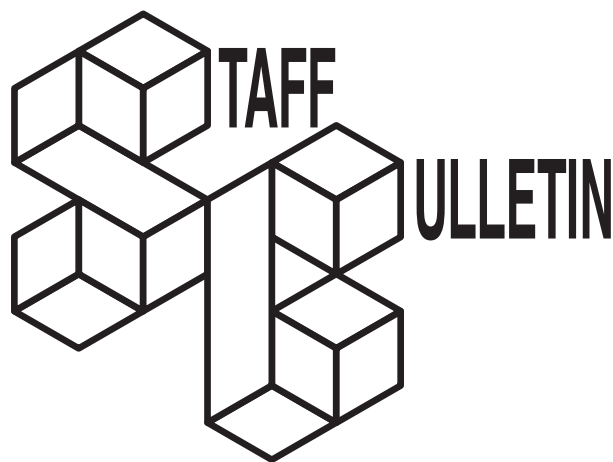


UNIVERSITY OF TSUKUBA

07

2004 速報つくば

筑波大学発行
総務・企画部編集
平成16年4月7日
通巻1076号



国立大学法人筑波大学発足式



メッセージを発する岩崎洋一学長

4月1日14時から、講堂にて「国立大学法人筑波大学発足式」が、約500名が出席する中、厳かに執り行われました。

岩崎洋一学長から、「筑波大学で学んでよかった。」「筑波大学で働けてよかった。」と学生も教職員も心から満足し、誇れる大学にしていきたいとの力強いメッセージがありました。また、理事の方々からも、力強い抱負の言葉を頂きました。

この模様は、工学システム学類の学生有志団体「OpenEsys」の協力によりWeb中継が行われ、世界へと発信されました。Webビデオ配信（公式ホームページからアクセス）も予定されています。

平成15年度卒業式・学位記授与式

平成15年度の学群・理療科教員養成施設の卒業式が3月25日（木）10:00から、大学院学位記授与式が同日13:35から、大学会館講堂で行われました。

卒業生数は、学群1,948人、理療科教員養成施設23人、大学院学位記授与者数は、博士課程317人（論文博士58人を含む。）、修士課程918人、博士課程修士194人でした。併せて、修学・研究活動や課外活動において優秀な成果・成績を修めた者等を対象とする学生表彰が行われ、北原保雄学長から学群学生8人、大学院学生15人に賞状

と記念品が贈られました。



学群卒業式の様子

田中喜代次教授が上原記念生命科学財団の平成15年度研究助成金を受賞



田中喜代次教授（人間総合科学研究科、健康スポーツ医学）は「オーダーメイド減量プログラムの提案」のタイトルで、上原記念生命科学財団より研究助成金（500万円）を授与されました。

上原財団は生命科学、特に健康の増進、疾病の予防及び治療に関する（1）栄養学、薬学一般、社会医学（含体力医学）、東洋医学、（2）基礎医学、（3）臨床医学の研究に対して助成金を贈呈しています。

田中教授への贈呈式は3月11日（木）に東京・上原記念講堂で行なわれました。なお、助成対象となった研究課題は21世紀COEプログラム「健康・スポーツ科学研究の推進」および先端学際領域研究センター（TARA）田中プロジェクト「オーダーメイド減量プログラムの開発」の一環として行なわれます。

富重圭一講師が触媒学会奨励賞を受賞

富重圭一講師（数理物質科学研究科）は、「パイオマス



の「高効率ガス化用触媒の開発」の研究により、平成16年度触媒学会奨励賞を受賞しました。

この賞は、触媒化学分野において、先導的で意義のある顕著な業績を挙げた若手研究者に授与されるものです。受賞式は3月30日（火）に第93回触媒

討論会（大阪大学豊中キャンパス）で行われました。また、本研究業績に関する記事が日経産業新聞（平成16年1月24日号）にも掲載されました。

奥野純子講師（共著者：柳久子助教授及び戸村成男教授）が日本衛生学会英文誌英語部門最優秀論文賞を受賞



奥野純子講師（人間総合科学研究科、福祉医療学）は、昭和4年（1929年）に第1回日本聯合衛生学会に始まり、昭和24年（1949年）より日本衛生学会と名称を変え現在に至っている歴史のある日本衛生学会の英文誌“Environmental Health and Preventive Medicine”の英語部門最優秀論文賞を、夜間降圧割合と認知機能低下の関連についての論文「Cognitive Impairment and Nocturnal Blood Pressure Fall in Treated Elderly Hypertensives」（共著者：柳久子助教授（人間総合科学研究科）及び戸村成男教授（同））により受賞しました。

3月26日には、順天堂大学医学部本郷キャンパス（有山記念講堂）で開催された第74回日本衛生学会総会で授賞式が行われました。

安坂幸師助手、木塚徳志助教授指導下の理工学研究科2年Deng Fei氏及び木塚徳志助教授が日本顕微鏡学会関東支部の第28回講演会で最優秀ポスター発表賞を受賞



安坂幸師助手



Deng Fei氏



木塚徳志助

安坂幸師助手（数理物質科学研究科、ナノサイエンス特別プロジェクト）、木塚徳志助教授（数理物質科学研究科）指導下の理工学研究科2年Deng Fei氏及び木塚徳志助教授が日本顕微鏡学会関東支部の第28回講演会で最優秀ポスター発表賞を受賞しました。

この賞は、バイオ・ナノテクノロジーとそれを支える顕微鏡技術に関して開催された同学会関東支部の第28回

講演会で、最優秀と認められたポスター講演「単層カーボンナノチューブのその場引っ張り変形観察」について与えられたものです。

なお、この賞は今回新たに設けられたもので、記念すべき第1回目の受賞者となりました。安坂幸師助手は、受賞者を代表して、3月13日開催された講演会会場で、同学会関東支部長より賞状を受け取りました。

平井有三教授指導下の理工学研究科2年山下純司氏が映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会における講演でベストプレゼンテーション賞を受賞



平井有三教授（システム情報工学研究科）指導下の理工学研究科2年山下純司氏は、2004年3月18、19日に行われた映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会において「信号源方位ヒストグラム法によるブラインド信号源分離」に関する研究発表により、ベストプレゼンテーション賞を受賞しました。今回の受賞は研究会参加者全員による投票で決まったもので、その研究内容とプレゼンテーションが高く評価されました。

（株）日立製作所との連携事業実施協定締結

- 産学リエゾン共同研究センター -



3月24日、本学と（株）日立製作所は、茨城を中心とした東北関東エリアにおける科学技術に立脚した産業振興に貢献することを目指して、人・技術・情報の多面的交流を行うことで合意し、産学連携協定を締結しました。同日の協定締結式は、大学会館特別会議室で15:00から30分間実施され、その後引き続いて記者会見が行われました。

本学からは、北原保雄学長、高木英明研究担当副学長、谷田貝豊彦産学リエゾン共同研究センター長、菊本慶リエゾン推進室長、後藤勝年先端学際領域研究センター長、山海嘉之教授（システム情報工学研究科）他が、また、

(株)日立製作所からは、中村道治執行役専務研究開発本部長、福永泰日立研究所長、三木一克機械研究所長他が出席しました。

この連携は、地域密着型の産業振興・ベンチャー育成のため、エネルギー・ロボティクス・材料など多彩な分野での技術連携や人材育成・交流を含む包括的な連携です。また、地域振興に協力可能な機関・企業に門戸を開放した、オープン型連携であることを特色としています。本学と(株)日立製作所は、昨年6月以来技術交流会を開催しており、すでにエネルギーとロボティクスに関する共同研究も開始されています。

この協定締結により、今後はこうした活動の活発化や規模の拡大が図られ、本学の教育・研究の発展につなげることはもとより、研究成果を地域産業の発展に役立てていくこととなり、世界レベルの技術発信を目指すこととなります。

小野清子大臣をお迎えして体育研究科文化講演会が開催される



平成15年度体育研究科文化講演会が、3月21日(日)東京キャンパスにおいて開催されました。講師として国家公安委員会委員長小野清子大臣をお迎えし、「我が国におけるスポーツ健康政策の課題と展望」と題してご講演をいただきました。東京キャンパスは、占春園はじめ数十年前に学生生活を過ごした場所として思い出深いとの印象に続き、オリンピック女子体操競技メダリストとしての豊富な経験をはじめ、我が国のスポーツ健康政策の重要性についてご講演下さいました。約100名を数える参加者は、先生の精力的なお話しとともに、若々しいお姿に深く感銘を受けました。

続くシンポジウムでは、社会人大学院スポーツ健康システム・マネジメント専攻開設一周年を記念し、スポーツ振興基本計画を基盤とした一層の普及と強化、そして21世紀におけるスポーツ・健康の新たな枠組みの創出と、幅広い教養を有した有能な指導者の育成を新しい専攻に期待して盛況のうちに終了しました。

アフガニスタン教育大学ムスリム教授が北原保雄学長を表敬訪問



教育開発国際協力研究センターの主催で3月21日につくば国際会議場で開かれた「第2回開発途上国における基礎教育開発に関する国際フォーラム」において、アフガニスタン教育大学のイスラムディン・ムスリム教授が「アフガニスタンにおける障害児教育の現状」について講演しました。障害のある子どもの教育の必要性を切々と訴える同教授の講演は参加者の胸を打ちました。同教授は25日に茗溪会館で行われた夜間大学院修了式後の北原保雄学長を訪ね、同国の障害児教育協力の要請をしました。アフガニスタン教育大学には、障害児教育教員養成課程がまもなく発足の予定であり、わが国の官・民の支援を受けて同大学内の敷地に附属学校を建設中です。

昨年10月に教育開発国際協力研究センターの中田英雄教授(人間総合科学研究科)は、国際協力機構(JICA)短期派遣専門家としてアフガニスタン教育大学と障害児教育の現場を視察しました。

今後、同センターはJICAや大学・研究機関などと連携して、同国の障害児教育分野の教育協力を積極的に推進していくこととなります。

高等部卒業生が北原保雄学長を表敬訪問

- 附属桐が丘養護学校 -



附属桐が丘養護学校では、3月23日高等部卒業生が北原

保雄学長を表敬し、激励の言葉を頂きました。
日頃、教育実習や介護等体験を通じて学生との交流はあるものの、大学を訪問するのは初めての経験とあって、高等部卒業生は全員期待と緊張の面持ちでしたが、自己紹介等の言葉を交わし、北原学長からの気さくな言葉がけにより、次第に表情もやわらかくなり、記念撮影では皆笑顔を見せていました。

卒業生の卒後の進路は、大学、専門学校、職業訓練校、福祉施設、一般企業等様々です。養護学校からそれぞれの世界への巣立ちの時を前に、北原学長から頂いた「所与」という言葉は、大学訪問の良き思い出とともに折に触れ彼らの支えになっていくのではないかと思われま

す。
工学システム学類、情報学類及びアドミッションセンターが進学説明会を開催



説明をする村上正秀教授（工学システム学類長）

工学システム学類、情報学類及びアドミッションセンター（AC）が、3月29日（月）、学校教育部の協力を得て、東京キャンパスで、昨年に続いて2回目の高校生、高等専門学校生などを対象とした進学説明会を開催しました。

午前中は工学システム学類、午後は情報学類が学類長による大学と学類の説明、教官によるミニ講義、学生による学生生活の説明などを行い、並行してACが来訪者への個別進学相談を行いました。

長崎、熊本、佐渡などの遠方からの来訪者も含め、高校、高専の生徒、教師など約50名が参加しました。

共済組合係からのお知らせ

文部科学省共済組合共済積立貯金の募集

平成16年度における共済積立貯金（4月期）の新規加入及び積立金額変更の募集を次により行います。詳細については 別途パンフレットを配布いたしますのでご覧ください。

加入資格：共済組合員

積立種類：定期積立 1,000円単位で給与から控除

臨時積立 1,000円単位で6月・12月の期末・勤勉手当から控除

臨時積立のみの申込はできません。

申込期間：4月1日（木）～20日（火）

申込手続：「貯金加入申込書」、「積立金変更申込書」に必要事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事務担当係に提出してください。

控除開始：6月俸給

問合せ先：各部局等の共済組合事務担当係又は人事課福利厚生室共済組合係（TEL2152）

文部科学省共済組合団体積立終身保険の募集

平成16年度における団体積立終身保険（4月期）の新規加入及び積立金額変更の募集を次により行いません。詳細については別途パンフレットを配布いたしますのでご覧ください。

加入資格：

Aコース（個人年金保険料控除適用）

退職まで積立期間が10年以上ある共済組合員

Bコース（生命保険料控除適用）

退職まで積立期間が2年以上ある共済組合員

積立金額：月 払 掛 金 1口2,000円で給与から控除
（最低1口～最高500口）

半年払掛金 1口10,000円で6月・12月の期末・勤勉手当から控除
（最低1口～最高200口）

半年払のみの申込はできません。

申込期間：4月1日（木）～21日（水）

申込手続：「加入（変更・復活）申込書」に必要事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事務担当係に提出してください。

控除開始：半年払 6月期末・勤勉手当

月 払 7月俸給

問合せ先：各部局等の共済組合事務担当係又は人事課福利厚生室共済組合係（TEL2152）

共済積立貯金「払いもどし・解約請求書」等の提出日について

共済積立貯金の「払いもどし・解約請求書」等の提出期限は毎月末日までとなっていますが、平成16年5月に入金を希望される方は、祝休日の日程上、4月20日（火）までに必要書類を人事課福利厚生室共済組合係（TEL2152）に提出して下さい。

共済組合掛金率の変更について

平成16年4月1日より共済組合掛金率が下記の通り変更となります。（千分率）

区 分	短期	介護
変更後	33.12	3.42
変更前	29.62	3.00

なお、掛金は標準報酬月額及び期末手当等の額に上記の変更後の掛金率を乗じた額を徴収いたします。

被扶養者の認定取消の手続きについて
組合員の被扶養者が就職などで、次にあてはまるときは、事実発生日以降30日以内に組合員証と「被扶養者申告書」及び必要書類を添えて、所属の共済組合事務担当係まで速やかに提出してください。

就職等により社会保険等に参加した場合

●辞令又は保険証の写し

パートやアルバイトなどで年間所得が130万円（年金受給者は年額180万円）を超える場合

●給与証明書又は年金証書若しくは年金改定通知書の写し

この手続きを怠り、被扶養者としての資格を失った後に組合員証を使用し診療を受けた場合は、その療養費を共済組合へ返還することになります。

国民年金喪失届の手続きについて

これまで、国民年金に加入されていた方で、本学の職員となり共済組合員となられた場合、住所地の市区町村役場国民年金担当窓口にて国民年金喪失届を行う必要があります。また、共済組合の被扶養者となっている配偶者については第3号被保険者届出も必要となります。

既に、共済組合係では、共済組合加入手続を行い、長期掛金として共済組合に納付されておりますが、加入情報が社会保険庁に届き、加入年金の変更手続が行われるまでに1年程かかることがあります。その間に、社会保険事務所より国民年金未納保険料納付勧奨通知書（催促状）が届くことがありますので、早めに届出を行ってください。

校費による学外文献複写申込オンラインサービスの開始について
- 附属図書館 -

従来、学外の図書館等に所蔵されている資料の文献複写を申し込む場合、「文献複写申込書（学外依頼用）」に必要事項を記入し、各館レファレンスデスクに提出していただいておりますが、3月29日から図書館オンラインサービスの新機能として校費による学外文献複写申込機能が追加されました。これにより、「文献複写申込書（学外依頼用）」による方法に加えて、研究室等の端末からオンラインで直接、申し込みができるようになりました。利用については以下のURLをご覧ください。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/online-service/outline.html>

学術情報データベース検索サービスについて
- 学術情報メディアセンター -

UTOPIA学術情報検索サービス
8月に大型汎用計算機kikuの撤去を控え、INSPEC

を除くデータベースの契約は平成15年度で終了しました。しかし、CABデータベースについては、契約終了後も2003年までのデータについては使用権があるため、2003年までのファイルが検索できます。これにより、UTOPIA学術情報検索サービスは、4月から次表のようになりました。

略称	サービス内容
CAB	現システムが撤去される8月まで2003年までのデータでサービス継続
INSPEC	現システムが撤去される8月までサービス継続

CABDirect

CAB Directは、CABデータベースの作製元が直接Webで行っている検索サービスで、平成14年よりご利用いただいております。しかし、UTOPIAでのCABの契約を止めたため多額の費用が必要となったこと、利用者が少ないことなど、諸事情により契約が困難になりましたので、平成15年度をもってサービスを中止しました。

平成16年度組換えDNA実験従事者講習会のお知らせ

新たに組換えDNA実験を行う教職員及び学生等に対して、次のとおり講習会を開催します。

日時：4月17日（土）10:00～12:00

会場：第二学群H棟2H101

内容：（1）遺伝子組換え実験に関する規則について
（2）組換えDNA研究の基礎技術
（3）微生物安全取扱法

対象：平成16年度に組換えDNA実験を行う予定の教職員、大学院学生、学群学生、研究生等とします。ただし、過去に本講習会を受講し、組換えDNA実験従事者として登録された者は、原則として、今回の講習会受講者の対象から除外します。

申込方法：所定の申込書に所要事項を記載の上、4月13日（火）までに研究事業部研究事業課研究企画係（所属の教育研究支援室研究支援担当係）へ提出する。

問合せ先：研究事業部研究事業課研究企画係
（TEL2206, 2223 FAX6011）
遺伝子実験センター事務室
（TEL6006, FAX7723）

初心者（新規）講習会「放射線業務従事者講習会（第91回）」のお知らせ
- 研究基盤総合センター -

新たに放射線を取り扱う予定の教職員・学生等に対する法定の講習（教育・訓練）を次のとおり行います。なお、学生には掲示をしますが、指導教官におかれまし

ても研究等を予定している学生に対し、周知方を願います。

日時：4月28日（水） 9:00～14:50 講義
15:00～受付開始 特別健康診断

5月 6日（木）、7日（金）8:50～17:00 実習
実習については、どちらかの半日となります。

場所：大学会館国際会議室 講義
保健管理センター 特別健康診断
研究基盤総合センター 実習

定員：120名（先着順締切）

申込：4月19日（月）～22日（木）までに印鑑持参の上、研究基盤総合センター事務室に受講者本人が直接申し込んでください。（用紙は研究基盤総合センター事務室にあります。）

つくばブレインサイエンス協会からのお知らせ

第108回つくばブレインサイエンス・セミナー（4月定例会）の開催について

日時：4月13日（火）18:00より

場所：医学専門学群棟臨床講義室（A）

演題：文法処理の脳機能イメージング研究

酒井邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科・認知行動科学）

このセミナーは、医科学研究科（修士課程）及び人間総合科学研究科（博士課程）との共催セミナーです。

2004年度つくばブレインサイエンス協会総会の開催について

新年度を迎えるにあたり、2004年度総会を開催します。なお、この総会は第108回TBSAセミナー終了後に行います。

セミナーにご参加かたがたぜひ総会にご出席下さいますようお願い申し上げます。

問合せ先：基礎医学系 TBSA 事務局 大野忠雄（代表）
（TEL3098，FAX3495）

E-mail：tbsa@md.tsukuba.ac.jp
（Tsukuba Brain Sci. Assoc.）

U R L：http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tbsa/

特集号の訂正

3月23日発行の特集号16ページ「退職の言葉を頂いた方以外に定年で退職される方々は次のとおりです。（敬称略）」の14行目「安部一佳」教官は、「阿部一佳」教官の誤りでした。お詫びの上訂正します。

～スーパーコンピュータ講習会～

学術情報メディアセンター

学術情報メディアセンターでは、スーパーコンピュータの前期講習会を次のとおり計画しておりますので、ご参加下さい。なお、開催日・時間の未定分については決定次第センターホームページにてお知らせいたします。

開催年月日	時間	会場	内容	募集定員
5月18日(火)	13:30 ～16:00	会議室	スパコン利用のガイダンス	10名
7月	13:30 ～16:00	会議室	スパコン利用のガイダンス	10名
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	Gaussian98の利用について *	10名 (5名)
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	VPP FORTRANプログラミング *	10名 (5名)
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	MPIプログラミング *	10名 (5名)
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	AVS(可視化システム)の利用について *	4名 (3名)
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	POPLAS/FEM5の基礎と応用 *	4名 (3名)
7月又は8月	5時間程度	412室 システム利用室	-FLOWの基礎と応用 *	4名 (3名)

()内は実施最低人数

講習会に関する問い合わせ、申し込み先

(申込の際は、講習会名、開催日、所属、氏名、連絡先(電話、E-mail)をお知らせください。)

- ・TEL2452, FAX2478
- ・E-mail:request-seminar@cc.tsukuba.ac.jp

*印のスーパーコンピュータの講習会は講師を外部委託しますので、希望される方は5月21日(金)までにご連絡ください。

なお、開催日は受講希望者と講師の日程を調整の上で決定しますので、開催希望日もご連絡ください。
5月21日(金)までに、実施最低人数に満たない場合は、同講習会を前期内は開催いたしません。

詳細については、次のページでご覧になれます。

<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/mimosa/koushu/index.html>

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回（通巻1077号）の発行は4月21日（水）、原稿締切りは4月15日（木）となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字（英字・数字は半角）で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。

お寄せ頂いた原稿は、Web上で掲載しますので、ご了承願います。なお、「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は、広報課（TEL2041，FAX2014）へ願います。

E-mail : sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

メールで寄稿なされた際は、「速報つくば」より原稿受付の返信メールを配信いたしますのでご確認ください。原稿受付の返信メールがない場合は、お手数でも広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。